

大震災・復興ニュース(第109報)

平成25年5月23日

仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年5月17日～5月21日
- 2 測定分析機関 宮城県,(公財)海洋生物環境研究所,(株)総合水研究所,(一財)日本食品分析センター,(一財)日本冷凍食品検査協会,(一財)九州環境管理協会,いであ(株)東北緑化環境保全(株)

3 測定及び対応結果

全ての検査品目について、基準値を下回り、安全性に問題ないことが確認されました。

なお、「不検出」とは、放射性物質の濃度が、検出限界値に満たない(検出下限値未満)ことを指します。

水産物(漁獲日 平成25年4月28日～5月14日)

(単位:ベクレル/kg)

| 種別 | 漁獲場所 | 放射性セシウム | 種別 | 漁獲場所 | 放射性セシウム |
|--------|----------|---------|---------|--------|---------|
| アイナメ | 大須沖 | 不検出 | コモンカスベ | 名取市関上沖 | 11 |
| アイナメ | 鮫浦湾 | 不検出 | スズキ | 仙台湾 | 28 |
| キチジ | 宮城県沖 | 不検出 | スズキ | 名取市関上沖 | 27 |
| クロソイ | 女川湾 | 不検出 | スズキ | 花淵浜 | 22 |
| クロソイ | 女川湾 | 不検出 | ヌマガレイ | 名取市関上沖 | 4.2 |
| ケムシカジカ | 宮城県沖 | 不検出 | ハバガレイ | 名取市関上沖 | 不検出 |
| スズキ | 金華山～江の島沖 | 13 | ヒラメ | 仙台湾 | 不検出 |
| スズキ | 南三陸町歌津沖 | 8.3 | ヒラメ | 仙台湾 | 15 |
| スズキ | 金華山～江の島沖 | 15 | ヒラメ | 名取市関上沖 | 22 |
| スズキ | 南三陸町歌津沖 | 16 | ヒラメ | 花淵浜 | 83 |
| スズキ | 金華山～江の島沖 | 21 | マガレイ | 仙台湾 | 13 |
| スズキ | 金華山～江の島沖 | 13 | マガレイ | 名取市関上沖 | 5.4 |
| スズキ | 金華山～江の島沖 | 13 | マガレイ | 仙台湾 | 不検出 |
| ヒラメ | 大須沖 | 不検出 | マコガレイ | 仙台湾 | 6.4 |
| ヒラメ | 雄勝湾沖 | 2.1 | マコガレイ | 名取市関上沖 | 4.3 |
| ヒラメ | 女川湾沖 | 不検出 | マコガレイ | 花淵浜 | 7 |
| マダラ | 大須沖 | 4.7 | マコガレイ | 仙台湾 | 不検出 |
| マダラ | 大須沖 | 6.9 | マダラ | 仙台湾 | 5.9 |
| アイナメ | 仙台湾 | 4.4 | マダラ | 仙台湾 | 10 |
| アイナメ | 亘理荒浜沖 | 22 | マダラ | 名取市関上沖 | 21 |
| イシガレイ | 名取市関上沖 | 9.1 | マダラ | 宮城県沖 | 17 |
| イシガレイ | 亘理荒浜沖 | 26 | マダラ | 花淵浜 | 10 |
| カナガシラ | 仙台湾 | 8.3 | マダラ(幼魚) | 仙台湾 | 不検出 |
| ケムシカジカ | 仙台湾 | 5.6 | ムシガレイ | 仙台湾 | 不検出 |
| ケムシカジカ | 名取市関上沖 | 10 | - | - | - |

放射性物質の値は漁獲日における値を示す

イシガレイの出荷自粛の解除

・平成25年1月22日付けで県から出荷自粛を要請していた仙台湾南部海域のイシガレイについては、4月5日から5月14日までに、仙台湾南部海域で採取したイシガレイに含まれる放射性物質の検査結果がすべて50ベクレル/kgを下回っていたことから、5月18日(土)の水揚げ開始日から出荷自粛措置を解除することとしたのでお知らせします。

なお、今回の解除で県内全海域におけるイシガレイの出荷が可能となります。

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

塩竈フェアが開催されました

・平成25年5月15日(水)～19日(金)まで、仙台地方振興事務所と塩釜市内水産関係団体との共催によりアリオ仙台泉店(旧イトーヨーカ堂泉店)において、塩竈の水産加工品等のPRを行うための「塩竈フェア」が開催されました。フェア開催中は、ぎばさ(あかもく)とすり身を使った「塩竈産ぎばさ汁」1500食をアリオ仙台店入口で振る舞った他、マグロ漁師による漁獲作業の説明や塩釜産の水産加工品の販売を行い、消費者の方に塩釜のPRを行うことができました。

また、この期間は「笑顔咲くたび伊達な旅」をキャッチフレーズとした仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの期間中であることから、宮城県観光PR担当係長「むすび丸」に出張してもらい、じゃんけん大会を併せて開催し、県内観光地のパンフレットの配布や塩釜産のかまぼこ等をプレゼントし、県内観光地をPRしました。この、塩竈フェアは秋にも開催する予定です。



「塩竈産ぎばさ汁」の振る舞い



ベガッタくんも駆けつけて観光PR

がんばる漁業・仙台湾地域復興プロジェクト協議会が開催されました

・5月16日(木)に宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所において「がんばる漁業・仙台湾地域復興プロジェクト協議会」が開催され、東日本大震災からの復旧・復興を目指す実施主体が策定した漁業復興計画書の協議が行われました。

今回、協議された計画は宮城県漁業協同組合が実施主体となり、七ヶ浜支所所属刺網漁船(大吉丸)が行う漁獲物の高品質化やコスト削減の取組みで、当協議会で検討の結果、その計画内容が決定したことから、5月28日(火)に東京都で開催される第11回中央協議会に提出し事業認定の審査を受ける予定となっています。



協議会での検討状況

宮城県漁業士会南部支部第1回役員会が開催されました



・5月22日(水)宮城県漁業士会南部支部(津田正次支部長)の役員会が、水産漁港部を会場に今年度初めて開催されました。役員会では、前年度の決算、今年度の予算や復興に向けた活動に取組む事業計画などについて協議が行われ、総会への提出議案が決定しました。なお、総会は6月の最終週に開催される予定です。

役員会の様子